

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

トップの いさぎよ 潔い決断

1. 先代からの最重要顧客すら躊躇なく切る。ヤマト運輸中興の祖、小倉昌男のこの潔さが、社員の心を一つにまとめ、宅急便成功への推進力となった。ヤマト運輸は、昌男の父、小倉康臣が 1919 年に大和運輸として創業。その翌年に起こった恐慌で危機に陥ったが、三越呉服店（現三越）の市内配送契約によって再生できた。それ以来、康臣は三越を特別な顧客として扱い、両社は互いに信頼し合う関係だった。そんな状況は 1971 年に昌男が社長に就任してからも変らなかった。
2. ところが、1972 年、岡田茂が三越社長に就任してから、事情は変わった。岡田は「出入り業者」に高額商品を買わせ、配送料金の引き下げ、三越施設内での配送車の駐車料金およびヤマト運輸社員の事務所使用料の徴収まで追ってきた。三越出張所は年間 1 億円以上の赤字を計上するようになった。ついに小倉は、1978 年、三越に配送契約の解除を申し入れた。三越出張所の解散に当たっては、同出張所の約 200 人を集めてパーティーを開いた。
3. この決断は、新事業の宅急便が軌道に乗ったからできたことだったが、理不尽な顧客に対して毅然とした態度を取ったことが、社内の空気を新事業成功に向けて一つにまとめた。

(参考:「日経ベンチャー」2008 年 5 月号)

人事・労務について

勤続 50 年表彰会社が登場

1. 「勤続 50 年表彰」。こんな制度を昨年 12 月に設けた会社が、地元の新聞やテレビなどで注目を集めている。愛知県豊橋市で金属加工の専用工作機械やオーダーメイドで製造・販売する西島だ。西島に勤続 50 年の社員がいるのは定年制度がないためだ。140 人の従業員のうち、60 歳を超えても現役で働く人が 18 人いる。「70 歳を超えても新技術や新製品の開発に挑戦して元気で働いているのに、60 歳や 65 歳で辞めてしまう方がおかしい」。(西島篤師社長)
2. 一方、西島社長は実力のある若手を管理職に抜擢する。若いパワーがあれば管理職とスキルの追求という 2 つをうまくこなせると考えるからだ。このように西島では、高齢の社員も技術や技能の職場に当たる一方で、若手でも管理職に登用される。その結果、老いと若きが共存する職場環境を作っている。(参考:「日経ビジネス」:2008 年 3 月 17 日号)

経済者のための経済学

日本の役割 原文 人 (財務省参与)

1. 世界は残念ながら「バスに乗り遅れるな」とばかりに、あらゆるインデックスが証券化する方向にひた走り、「カネがカネを生む」新たな仕組みが着々と整備されつつある。もはや、株式会社の原点、資本主義の原点を完全に見失い、金融資本主義に洗脳されてしまっているのだ。
2. しかし、間違っても日本はこの流れに追従すべきではない。日本はアングロサクソン流の金融王国で生きるのではなく、モノづくりを原点とした産業立国で生きるべきなのだ。なぜなら、日本には中国やインドにも決して真似できないモノづくりに支えられた技術力が蓄積されている。これを土台にして中長期の研究開発を行い、すぐれた商品をつくり、社会に貢献していくべきだ。

(参考:「WEDGE」2008 年 6 月号)

古典に学ぶ

過は不敬に生ず

「過は不敬に生ず。能く敬すれば則ち過自ら寡し、もし或は過たば則ち宜しく速やかに之を改むべし」
 (訳) すべて過ちは自ら慎しみのないところから生じる。慎んでおれば過ちは自然と少なくなる。もし過つたら速やかに改めるべきである。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)